

輪中館事業

平成24年度 第2回 輪中講座

| | | | |
|---------|----|---|---------|
| 1/26(土) | 演題 | 輪中地域と液状化災害 | |
| | 講師 | 花園大学名誉教授・文学博士 伊藤 安男氏 大垣輪中研究会会員 安田 守氏 | |
| | 時間 | 10時～11時30分 | 参加者 79名 |



伊藤安男先生と安田守先生の二人による講演であった。最初に伊藤先生が、過去の災害(関東大震災、カスリン台風水害、伊勢湾台風被害、新潟地震、阪神・淡路大震災等)事例をみると、災害が発生している箇所は、自然地形と密接な関連があることを具体的に紹介された。災害の予測には、地域の歴史や地形を熟知することが重要であると述べられた。次に安田先生は、東日本大震災で多大な液状化災害に見舞われた利根川流域の香取市を調査された結果を報告された。液状化災害が発生した場所は旧利根川河道で、河川改修によって農地や工業地・住宅地になった所で、新旧の地図や写真等で分かり易く説明された。また、濃尾大震災での液状化災害の記録も紹介され、今後濃尾平野における液状化災害が発生しやすい箇所についても指摘された。

液状化災害を予測する上で、地形図や土地条件図などが、重要な資料であることがわかった。講師の説明は、具体的で分かり易く、参加者は熱心に聴講した。配付された資料も具体的で、大変分かり易いものであった。

